

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
交通英語A	英語で説明しよう	大槻 忠史	2年次前期
目的	将来、鉄道をはじめとした交通の現場で活躍するための英語の応用・実践力をつけることを目的とする。		
到達目標	上に記した目的を達成するために、(1)英語での基本的なコミュニケーション術を学ぶこと、(2)駅や車内で用いることが想定される表現を学び、使いこなせるようになること。		
内容	比較的易しい語彙と表現を用いて、鉄道を中心とする交通案内に関わる英語の基礎を学ぶ。		
講義スケジュール	第1講	イントロダクション	
	第2講	英会話の基礎表現(1) あいさつ	
	第3講	英会話の基礎表現(2) 自己表現	
	第4講	英会話の基礎表現(3) 知っておきたい単語・表現や数字表現など	
	第5講	復習・小テスト(1) 基礎確認	
	第6講	交通英語の実際を学ぶ(1) 駅構内での英語表記	
	第7講	交通英語の実際を学ぶ(2) 車内での英語表記	
	第8講	交通英語の実践演習(1) 駅での案内	
	第9講	交通英語の実践演習(2) 切符の購入	
	第10講	交通英語の実践演習(3) 乗換案内	
	第11講	復習・小テスト(2) 応用確認	
	第12講	社会で求められる交通英語：現場での活躍に向けて(1) 現状の分析	
	第13講	社会で求められる交通英語：現場での活躍に向けて(2) 分析に基づき、対策を考える	
	第14講	まとめと想定演習(1) 想定スキットを作成する	
	第15講	まとめと想定演習(2) 想定スキットを演じ、議論する	
方法	講義と講義内容を実際に使う機会を設けることで、身につくようにする。駅や車内、路線図などで用いられる実際の表記なども用いる。また必要に応じて、映像資料も使用する。		
授業外学習	授業前に指定箇所を予習した後、分からない単語を調べ、文法事項について忘れた箇所がある場合は復習しておくこと。また事後学習には、文法や表現、語彙を意識しながら毎日少しずつ時間をとって繰り返し声に出して読むこと、そして、それらが実際の交通機関でどのように用いられているのかを考察することで、定着する。		
成績評価	本試験(筆記試験)50%、平常点(グループワーク)30%、平常点(小テスト)20%。		
テキスト	井口紀子『1から出直し書き込み式英会話 BOOK』成美堂出版、2008年 その他、プリント教材や資料などを配布する。		
書籍	特に指定しない。授業内で、適宜紹介する。		
事項	授業に集中するのはもちろんのこと、学んだ表現を毎日少しでも時間をとって反復練習し、間違いを恐れずに実際に用いるように心がけて欲しい。あわせて、普段利用する交通機関で用いられる英語の表記やアナウンスにも注意してほしい。		